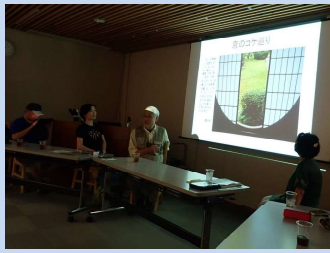


セミナー

海上の森を中心に、愛知県内外で定期的に観察会を行いながら、コケのフロラを調べています。また、コケ目線から生物多様性や生態系の普及啓発を行うため、コケの専門家等を招いて、セミナーやワークショップを実施しています。



2018年8月 海上の森センター 講師：道盛正樹氏(大阪市自然史博物館の会)
「コケは地球の絆創膏だ」をテーマに、コケと環境の関わりを学びました。



2018年10月 海上の森センター 講師：石河英作氏(コケクリエイター)
「コケと仲良くなるお話」を交えながら、テラリウムワークショップで、思い思いの作品作り。



2019年5月 海上の森センター 講師：藤井久子氏(ライター、編集者、コケ愛好家)
「海上の森のコケ散歩」と題して、観察会とコケ講座を行いました。



2019年8月 白鳥庭園 会員が協力して庭園内でミニ観察会を行いました。また、素晴らしい茶室を提供していただき、テラリウムづくりと冷やし抹茶を楽しみました。



2019年11月 海上の森センター 講師：山本好和氏(秋田県立大学名誉教授)
地衣類の本格的な講義と観察会でした。まじめな内容でしたが、30名近く参加がありました。

地衣類もみています。

地衣類はキノコの仲間で、藻類と共生して生きています。「中部の地衣類Ⅲ-尾張北～東部地衣類-2018版(山本ら)」では、岩屋堂で62種、海上の森で19種の地衣類が報告されていますが、現在でも次々に新たな種の生育が確認されています。

写真展



会員によるフォトコンテストを行っています。作品の一部は海上の森センターや愛知県庁に展示していただきました。



ヒカリゴケ(2018年)



ウロコゼニゴケ(2018年)



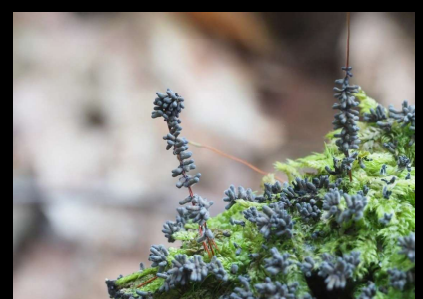
種不明(2018年)



フクロヤバネゴケ(2018年)



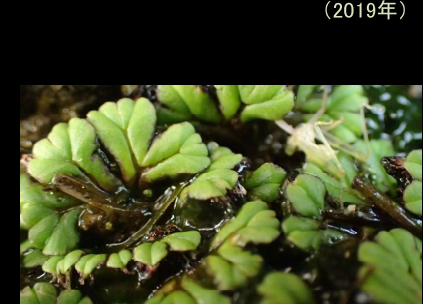
ケチウウチンゴケ(2019年)



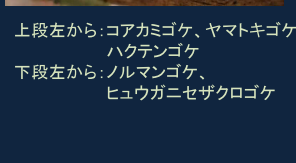
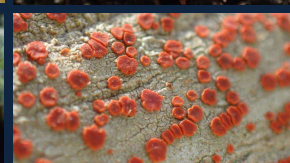
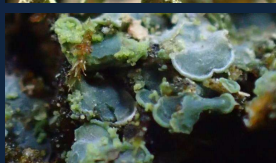
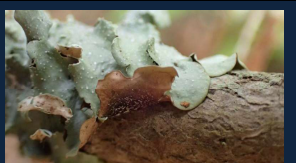
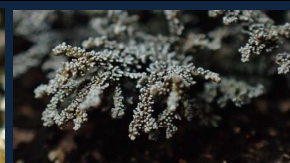
カガミゴケとツツスワリホコリ(変形菌)
(2019年)



タマゴケ(2019年)



イチョウウキゴケ(2019年)



上段左から：コアカミゴケ、ヤマトキゴケ、ハクテンゴケ
下段左から：ノルマンゴケ、ヒュウガンニセザクロゴケ